

## DIAMグローバル・ボンド・ポート 毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次運用レポート  
2012年2月**商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。

ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)を上回る運用成果をめざします。

運用にあたってはDIAM International Ltdのアドバイスを参考にします。

シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

主にグローバル・ボンド・ポート・マザーファンドへの投資を通じ、日本を除く世界主要国の国債を中心に、信用力の高いA格以上(海外格付機関のS&amp;P社またはMoody's社の格付を採用。)の格付の債券に投資します。

毎月10日(休業日の場合には翌営業日。)に決算を行い、原則として利子等収益の範囲内で分配を行うことをめざします。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向によっては、上記の運用ができない場合があります。

**主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)****投資信託は預貯金と異なります。投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の主な変動要因は以下のとおりです。なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

金利リスク .....金利リスクとは、金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。

為替リスク .....為替リスクとは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価格が変動するリスクをいいます。一般に外国為替相場が対円で下落(円高)になった場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。従いまして、外貨建資産が現地通貨建てでは値上がりしている場合でも、当該通貨の為替相場の対円での下落(円高)度合いによっては、当該資産の円ベースの評価額が減価し、当ファンドの基準価額の変動および分配金に影響を与える要因となります。また外貨建資産への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因による影響を受けて損失を被る可能性もあります。当ファンドでは、為替リスクに対して対円で為替ヘッジを行わないことを原則としているため、円と外国通貨の為替レートの変化がファンドの資産価値に大きく影響します。

信用リスク .....信用リスクとは、公社債、コマーシャルペーパーおよび短期金融商品の発行者が、経営不振、その他の理由により利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなる(債務不履行)リスクをいいます。一般に債務不履行が生じた場合またはそれが予想される場合には、当該公社債等の価格は下落(価格がゼロになることもあります。)し、当ファンドの基準価額が下がる要因となります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料は6枚ものです。P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。****なお、別紙1も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

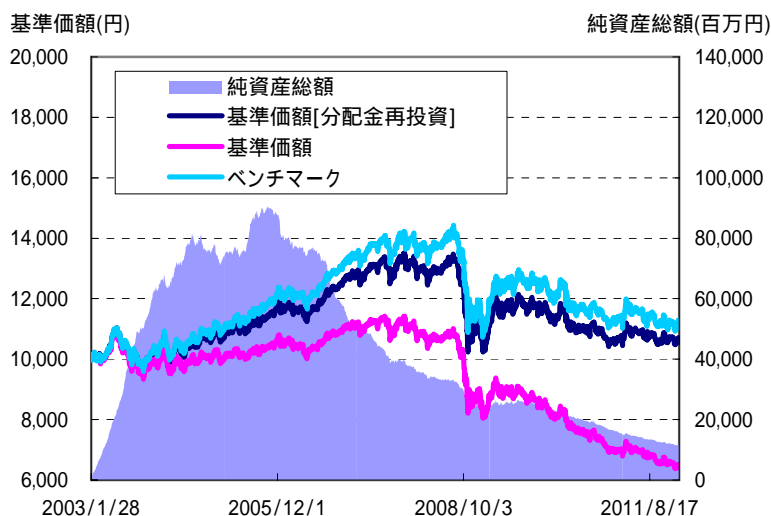
加入協会：社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

**DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)**

追加型投信 / 海外 / 債券  
月次運用レポート (2012年2月)

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算して  
いますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] =  
前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
ベンチマークは、2003年1月28日の値を10,000として指数化して表示していま  
す。(設定日：2003年1月29日)

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いた  
だく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	6,461 円
解約価額	6,448 円
純資産総額	11,457 百万円

**ポートフォリオ構成**

実質組入比率	95.6 %
内現物等組入比率	95.6 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	4.4 %
組入銘柄数	52

比率はマザーファンドの純資  
産総額に対する割合です。

**ポートフォリオの状況**

	当ファンド	世界国債 インデックス	差
平均複利利回り	1.34%	1.92%	-0.58%
平均クーポン	4.32%	3.45%	0.87%
平均残存期間	7.54	8.03	-0.49
修正デュレーション	5.70	6.25	-0.55

1 マザーファンドにおける状況を表示しています。  
2 世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデッ  
クス(除く日本)です。

**騰落率(税引前分配金再投資)**

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	2年 (2010/01/29)	3年 (2009/01/30)
当ファンド	-0.63%	-1.60%	-0.29%	0.36%	-6.67%	2.61%
ベンチマーク	0.10%	0.12%	-0.50%	-0.84%	-7.96%	0.77%
差	-0.73%	-1.73%	0.22%	1.20%	1.29%	1.84%

1 当ファンド騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**分配金情報(税引前)**

直近3年分

第72期 (2009.02.10)	60 円	第84期 (2010.02.10)	60 円	第96期 (2011.02.10)	45 円
第73期 (2009.03.10)	60 円	第85期 (2010.03.10)	60 円	第97期 (2011.03.10)	45 円
第74期 (2009.04.10)	60 円	第86期 (2010.04.12)	60 円	第98期 (2011.04.11)	45 円
第75期 (2009.05.11)	60 円	第87期 (2010.05.10)	60 円	第99期 (2011.05.10)	45 円
第76期 (2009.06.10)	60 円	第88期 (2010.06.10)	60 円	第100期 (2011.06.10)	45 円
第77期 (2009.07.10)	60 円	第89期 (2010.07.12)	60 円	第101期 (2011.07.11)	45 円
第78期 (2009.08.10)	60 円	第90期 (2010.08.10)	60 円	第102期 (2011.08.10)	45 円
第79期 (2009.09.10)	60 円	第91期 (2010.09.10)	60 円	第103期 (2011.09.12)	45 円
第80期 (2009.10.13)	60 円	第92期 (2010.10.12)	60 円	第104期 (2011.10.11)	45 円
第81期 (2009.11.10)	60 円	第93期 (2010.11.10)	60 円	第105期 (2011.11.10)	45 円
第82期 (2009.12.10)	60 円	第94期 (2010.12.10)	60 円	第106期 (2011.12.12)	45 円
第83期 (2010.01.12)	60 円	第95期 (2011.01.11)	60 円	第107期 (2012.01.10)	45 円
					累計分配金 4,465 円

1 分配金は1万口当たり

2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
分配金が支払われない場合もあります。

当資料は6枚ものです。

P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

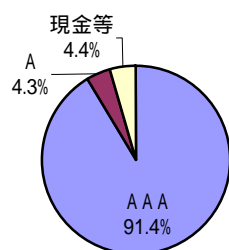
DIAMアセットマネジメント



## DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)

追加型投信 / 海外 / 債券  
月次運用レポート (2012年2月)

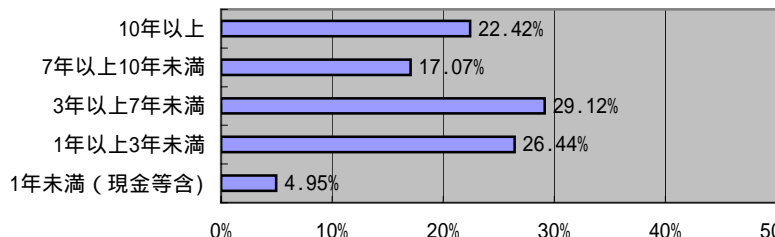
## 格付別構成



格付については、海外格付機関（S&PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## 残存別構成比



比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## 通貨別構成比

通貨名	通貨別組入状況			修正デュレーション			
	組入債券	為替予約 ・先物	計	当ファンド	世界国債 インデックス	差	
北米	USドル	54.64%	0.00%	54.64%	5.01	5.62	-0.61
	カナダ・ドル	5.31%	0.00%	5.31%	8.26	6.39	1.87
中南米	メキシコ・ペソ	0.00%	0.00%	0.00%	-	5.94	-
欧州	イギリス・ポンド	5.10%	0.00%	5.10%	8.38	9.81	-1.43
	スイス・フラン	0.00%	0.00%	0.00%	-	5.86	-
	デンマーク・クローネ	0.90%	0.00%	0.90%	8.45	8.05	0.40
	ノルウェー・クローネ	0.32%	0.00%	0.32%	4.56	3.88	0.68
	ユーロ	26.41%	0.00%	26.41%	6.72	6.23	0.49
	スウェーデン・クローネ	0.72%	0.00%	0.72%	6.55	6.42	0.13
	ポーランド・ズロチ	0.70%	0.00%	0.70%	2.78	4.01	-1.23
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.54%	0.00%	1.54%	2.83	4.59	-1.76
	シンガポール・ドル	0.00%	0.00%	0.00%	-	5.74	-
	マレーシア・リンギット	0.00%	0.00%	0.00%	-	4.58	-
現金等	4.35%	-	4.35%	-	-	-	

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。また、世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)です。

## 国別構成比

発行国	当ファンド	世界国債インデックス	差	
北米	米国	54.64%	41.55%	13.09%
	カナダ	5.31%	3.00%	2.31%
	計	59.95%	44.55%	15.40%
中南米	メキシコ	0.00%	0.90%	-0.90%
計	0.00%	0.90%	-0.90%	
欧州	オーストラリア	0.00%	1.75%	-1.75%
	ベルギー	0.00%	2.59%	-2.59%
	フィンランド	6.69%	0.62%	6.07%
	フランス	6.01%	9.45%	-3.44%
	ドイツ	10.16%	9.23%	0.94%
	アイルランド	0.00%	0.73%	-0.73%
	イタリア	0.00%	8.96%	-8.96%
	オランダ	0.00%	2.52%	-2.52%
	スペイン	3.56%	4.54%	-0.97%
	ユーロ計	26.41%	40.37%	-13.96%
	デンマーク	0.90%	0.86%	0.04%
	スウェーデン	0.72%	0.62%	0.10%
	スイス	0.00%	0.45%	-0.45%
	英国	5.10%	8.72%	-3.62%
ポーランド	0.70%	0.74%	-0.04%	
ノルウェー	0.32%	0.32%	-0.00%	
計	34.15%	52.08%	-17.93%	
アジア・オセアニア	オーストラリア	1.54%	1.50%	0.04%
	シンガポール	0.00%	0.39%	-0.39%
	マレーシア	0.00%	0.57%	-0.57%
計	1.54%	2.46%	-0.92%	
現金など	4.35%	-	-	
合計	100%	100%	-	

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。また、世界国債インデックスとは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)です。

当資料は6枚ものです。  
P.6の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント



## DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)

追加型投信 / 海外 / 債券  
月次運用レポート(2012年2月)

## 組入上位10銘柄

(単位:%)

No	銘柄	セクター	クーポン	償還日	国名	通貨	格付	組入比率
1	米国財務省証券	国債	4.25%	2015/08/15	アメリカ	米ドル	AAA	9.79
2	米国財務省証券	国債	4.00%	2014/02/15	アメリカ	米ドル	AAA	8.10
3	米国財務省証券	国債	4.25%	2013/08/15	アメリカ	米ドル	AAA	8.08
4	米国財務省証券	国債	3.88%	2013/02/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.73
5	米国財務省証券	国債	4.50%	2017/05/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.70
6	米国財務省証券	国債	4.25%	2039/05/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.38
7	ドイツ国債	国債	3.25%	2021/07/04	ドイツ	ユーロ	AAA	4.37
8	フランス国債	国債	6.00%	2025/10/25	フランス	ユーロ	AAA	4.26
9	フィンランド国債	国債	5.38%	2013/07/04	フィンランド	ユーロ	AAA	4.13
10	米国財務省証券	国債	2.63%	2020/11/15	アメリカ	米ドル	AAA	4.04

1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

2 格付については、海外格付機関(S&PおよびMoody's)による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

## 1月のマーケット動向と当ファンドの動き

世界の主要金融市場では、フランスを含むユーロ圏9カ国の格付の引き下げを受け、月半ばにかけて欧州の債務問題に対する警戒感が再び強まりましたが、後半は好調な内容の米国の経済指標の発表を受けて、世界的に株式市場が上昇するなどリスクへの懸念は弱まりました。主要国の国債利回りは前月末に比べて小幅に低下(価格は上昇)しました。

大手格付会社がフランスを含むユーロ圏9カ国の格付の引き下げを発表したことにより、欧州の債務問題に対する警戒感が一時的に強まりましたが、2011年末に実施されたECB(欧州中央銀行)による期間3年の資金供給などもあり、2011年後半から急速に上昇していたイタリアおよびスペインの国債利回りは、2012年初めに低下しました。ただし、ギリシャ政府と民間投資家との債務削減交渉は難航しており、投資不適格に格下げされたポルトガルの国債利回りは引き続き高い水準にあることや、今後欧州では国債が大量に償還を迎えるなどの不安材料もあり、先行きは依然として不透明です。一方、米国経済は緩やかな回復傾向が続いていますが、失業率は引き続き高い水準にあり、本格的な回復を迎えるには時間を要します。FRB(米連邦準備理事会)は金融緩和政策を維持する姿勢であり、25日には事実上のゼロ金利政策を2014年後半まで延長する見通しを発表しました。

為替市場では、ドル/円相場が前月末の1ドル=77円台から76円台となり対円で下落した一方、ユーロ/円相場は同1ユーロ=100円台で横ばい、ポンド/円相場は同1ポンド=119円台から120円台へ対円で上昇しました。

債券利回りは中長期的に上昇するとの見方から、ポートフォリオ全体のデュレーションをベンチマークに対して短くしています。また、通貨配分については、財政問題を抱えるユーロを引き続きアンダーウェイトとしています。

## 今後のマーケットの見通しと運用方針

金融市場では引き続き欧州の債務問題に注目が集まっています。欧州の国債市場はECBの資金供給により一応の安定を見せていますが、南欧諸国と金融機関の信用リスク懸念の解消の目処は立たず、今後も各国の政治的な動きに左右される不安定な市場環境が予想されます。また、債務問題の克服に向け、各国の財政緊縮政策や金融機関のバランスシートの調整が必要ですが、このような動きは实体经济に悪影響を及ぼし景気減速が予想されます。一方、米国では緩やかな回復が続くものの、雇用や住宅関連の経済指標の改善が遅く先行きに不安が残ります。

現在の債券利回りはやや割高な水準にありますが、不安定な市場環境の継続が想定されることから、利回り動向に応じて機動的に対応します。通貨配分については、欧州の債務問題の長期化からユーロのウェイトを低めに維持し、米ドルのウェイトを高めにする方針です。

上記の見通しと運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は6枚ものです。  
P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント



## DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)

追加型投信 / 海外 / 債券  
月次運用レポート(2012年2月)

## お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日またはロンドンの銀行の休業日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2003年1月29日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動引き落とし投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

## お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	<b>購入価額に2.1%(税抜2.0%)を上限として</b> 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	<b>換金申込日の翌営業日の基準価額に0.2%を乗じて得た額とします。</b>
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用 (信託報酬)	<b>信託財産の純資産総額に対して年率0.8925%(税抜0.85%)</b> を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は6枚ものです。  
P.6の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント



## DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2(愛称:ぶんぱいくん)

追加型投信/海外/債券  
月次運用レポート(2012年2月)

## 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 当資料のお取扱いについてのご注意

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性等について同社が保証するものではありません。また、掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとの基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料の内容はあくまでも作成時点(2012年2月9日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に債券などの値動きのある有価証券に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額が下落することがあります(また、外貨建て資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。)。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なることにご留意ください。

## ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > DIAM International Ltd

## 委託会社の照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社  
コールセンター 0120-506-860  
(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)  
ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

## 販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年2月9日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	社団法人 金融先物 取引業協 会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号					
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号					
株式会社きらやか銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第15号					
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第115号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。  
また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

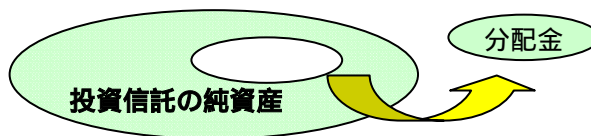
(原則、金融機関コード順)

当資料は6枚ものです。

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

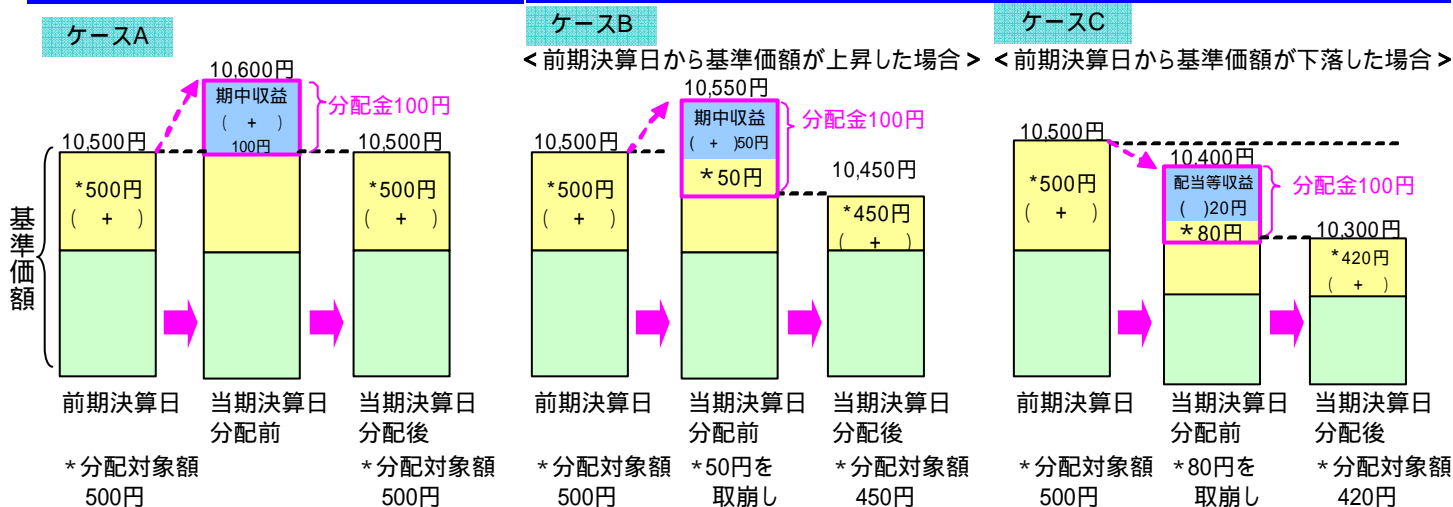
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

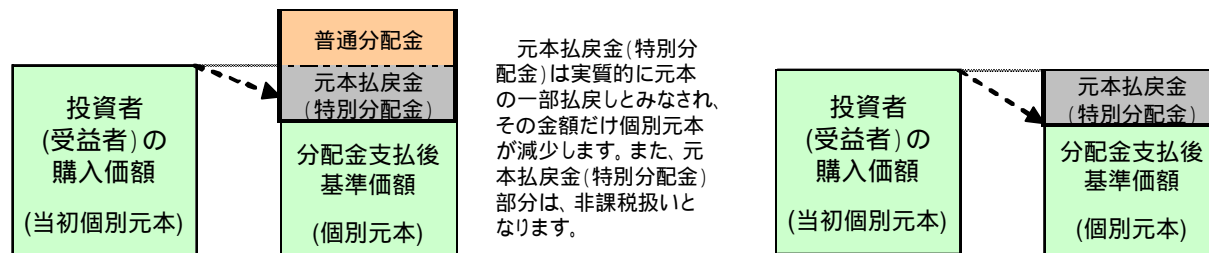
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金**: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金(特別分配金)**: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。